

進路だより



第3号
令和8年9月
金沢支援学校
連携支援グループ
進路支援チーム

夏の進路支援チームはさまざまなイベントで大いに盛り上がりました。今回は、「進路を考える会」「特例子会社を知ってもらう日」の報告をいたします。

「進路を考える会」は、毎年行われている本校の「夏季公開講座」の第1日目に行われました。今年は3つの事業所にお越しいただきました。生活介護事業所、就労継続支援B型事業所、就労移行支援事業所、それぞれの概要や特徴などのお話をうかがった後、質問や気になっていることを事業所の方に直接お聞きすることができました。どの事業所の方も丁寧にお答えくださり、大変貴重な機会となりました。

生活介護事業所

磯子区地域障害者活動ホーム

どんな事業所？

NPO 法人 ^{あらた}新 が運営している、横浜市磯子区にある生活介護事業所。男性24名女性6名の30名で、19歳～67歳までの幅広い年齢層の方が利用している。

Q&A

Q トイレや食事の自立をしていないが、受け入れてもらえるのか？

A 受け入れ可能。食事介助が必要な方もいる。トイレも付き添うことは可能。

Q 給食はあるのか？

A 現在、給食はないが仕出し弁当を頼んでいる。

Q 送迎はあるか？

A ある。利用者の半分の送迎、半分の自力。職員の体制が整えば希望している家庭に寄り添いたい。

就労継続支援B型事業所

つばさ

どんな事業所？

横須賀堀之内にあるB型事業所。働きながら力をつけたい方や自分のペースで働きたい人が利用している。現在男性23名女性2名が在籍し、19歳から71歳まで幅広い年齢層で活動している。

Q&A

Q.B型か、生活介護か、など進路を選ぶ基準を知りたい。

A.いちばんは本人に合った環境の場を選ぶこと。B型に合う人としては、作業・働くことに興味を持てる、一定時間継続して作業できる、社会に出て生活したいと思っている人。

Q.送迎はありますか。

A.送迎はない。自立した生活を大切にしたいため。

ウェルビー

どんな事業所？

障害がある方の就労を支援する「ウェルビー」（就労移行支援）と、障害がある方の自立した生活を支援する「ウェルビーチャレンジ」（自立訓練（生活訓練））がある。拠点は全国 136 か所あり、利用者は 10 代から 60 代と幅広い年齢層の方がいる。

Q&A

Q 自立訓練って何？どんな方が利用している？

A 公共交通機関の利用の仕方といった生活に欠かせない知識やスキル、セルフケア、コミュニケーション、一般常識等、幅広い能力を身に着けるための訓練を行っている。生活能力の維持や向上を目指す方、就労を目指しているが生活リズムが安定していない方、リワークの方など利用目的も様々。

Q 就労移行支援を利用後、どのようなところに就労する人が多い？

A 移行支援は週5日來ることがベースになる。就労先はオフィスサポート、清掃など様々で、利用者の実態に応じて B 型事業所をすすめることもある。

特例子会社を知ってもらう日

「特例子会社を知ってもらう日」は今年初めての試みでした。シーサイドライン沿いにある特例子会社である「日清オイリオ・ビジネススタッフ株式会社」、「東芝ウィズ株式会社」、「日総びゅあ株式会社」、「株式会社ニッパツ・ハーモニー」「株式会社京急ウィズ」の5社にお越しいただき、それぞれの特例子会社のお話をいただきました。

人数、雇用形態、規模などは、会社によって全く異なりますが、大事にしていることや求められるところは技能や技術ではなく、生活リズムが整っている、休まず通える、挨拶ができる、話を素直に聞ける、など、「職業準備性ピラミッド」の下3つの部分なのだということがよく分かりました。

お話のあとはそれぞれのブースに分かれて個別にお話を聞くととても貴重な機会もありました。

